

平成 18 年 11 月 22 日 記者会見 質疑応答（東京）

発表内容：平成 18 年度中間決算について

日 時：平成 18 年 11 月 22 日（水）17 時 21 分～17 時 51 分

場 所：日銀金融記者クラブ（東京）

発表者：細谷会長、中村執行役、東執行役

【質疑応答】

Q．今回の決算は繰延税金資産の要因もあるがかなり利益が出ている。今銀行界を巡っては利益の顧客還元を求める声が高まっているが、今後新たな顧客還元策は具体的に考えているのか？

A．サービスには、機能的サービスの向上と情緒的サービスの向上の両方あると思っています。りそなは収益を上げて公的資金の返済の財源を確保することが最大のミッションです。機能的サービスについては効率的な投資等によるサービス向上を目指します。メガの一部が利用料金等の見直しをされていますが、りそなはこれまでもメリハリをつけた形で、例えば「インターネットバンキングにおける他行振込みでは100円」とか、「TIMOという通帳レスの普通預金では時間外のATM利用料をゼロにする」とか、また最近ポイント制を導入いたしましてキャッシュバック的なサービスも行っております。このようにりそなを大事にして頂けるお客さまに対して機能的なサービスのレベルを上げることに力を入れると同時に、待ち時間ゼロというソフト面、あるいはホスピタリティという情緒的サービスに引続き力を入れて参ります。サービスはりそなの大きなブランドでありますので、これを大事にしながらかかり収益を上げて公的資金の返済をスムーズに進めて行きたいと考えています。

Q．公的資金を完済したメガバンクの中では一部政治献金を検討する動きがあるがそれについてどう見ているか？またこれからどのように対応していくのか？

A．公的資金を返済するという大きな使命を抱えておりますので、現時点で政治献金等については検討するテーマではないと思っています。経済同友会でも政治献金の問題はいろいろ議論してきております。やはり政治には一定のコストがかかり、それに対してどのようにコストを賄っていくかこれまでも議論されてきているテーマですが、やはりより透明性を高くする中で経済界等中心に、もう一度きちんと議論するテーマではないかと思っています。

Q．他のメガが検討している状況についてどう見ているか？

A．それぞれの銀行のご判断ですので、特段コメントする立場にはありません。

Q．もう一度議論するというのとはどういうことか？今までの議論では足りないということか？

A．いろいろな意見があり、経済界の中でも意見がわかれているテーマでもありますので、今後とも議論していかなければならない、なかなか結論のにくいテーマだと私は思っています。

Q . 他の大手銀行は最近増配傾向であるが、他のメガと比べてどうやって企業価値を上げて株価を上げていこうとしているのか？

A . 私が就任以来言っていますが、メガバンクに出来ないこと、地方銀行に出来ないこと、といった差別化戦略を徹底するしかない。そこにりそなの生き残る道があるということです。そのために地域運営というメガでなかなかやりにくい運営体制を導入していますし、また、りそなが中立的な立場であるということからアライアンスを徹底していく。それからものづくりメーカー等の社外取締役の知恵を借りながら、オペレーション改革で絶対NO . 1の銀行になるんだという思いで、効率的な運営を行いながらリレーションシップ力のサービスを強化していくということが重要ではないかと思っています。いずれにしろ、差別化戦略というか、メガと一線を画したサービスをやっていくことでお客さまに選択されるという重要なテーマです。

Q . 復配は決められた訳ですが、ちなみに今期末の予想の普通株の配当性向は？

A . 普通株だけでおよそ2%強です。

Q . 中間段階で債券損益等の債券の含み益があるようですが、その要因と通期の見通しは？

A . 第一四半期は、5月6日に市場が非常に荒れたというか、予想通り行かなかったということから債券関係の損失が出ました。その後は順調ですので、業績修正通りのトップラインの数字を目指していきたい。

Q . 通期の債券関係損益だけの見通しは？

A . 特に債券関係損益は全く相場によりますので、それを積み上げるというような計画にはなっていません。

Q . 通常はこのまま？

A . 第二四半期以降は計画通りというか、今のところ特段の波乱要因は出ていないということです。

Q . 他のメガバンクはリスク量の見直し等を進めている様であるが？

A . 3月末より債券の含み損を改善するという形で実現損を計上しましたので、そういう意味ではきちんと見直しが進んでいるということです。

A . 開示にもありますが、債券関係の含み損失だけで9月末で415億円です。我々のポートフォリオのレベルから考えて非常に小さな数字であると思っています。

A . これ以外にも株式の含み益が3,000億円弱あります。

Q . 景気の現状の認識と国の追加利上げについてどう思うか？

A . マクロの指標等は必ずしも強気の数字が出ていないわけですが、お客さまとの接点においては景気が厳しいという感じは全くいたしません。極めて日本経済は順調にしているのではないかなという感じがします。日銀の次の金利政策の変更につきましては、内外の経済情勢が非常に不透明になっておりますので、そこを十分に勘案して判断の時期を決められるということではないかと思っています。

Q . 中長期的な配当性向の目標は？

A . 公的資金をお返しすることが最優先の課題でありますので、現時点では配当の水準等の見直しの議論はしておりません。

A . 一つの考え方として、公的資金を今後買い戻していくと潜在株をなくすことになりま
すので、これも一つの株主還元だと思っています。

Q . 手数料の一部引下げのなどの具体策は考えているのか？

A . 手数料については一貫してお客さまのニーズや、他行の動きを見ながら見直して行か
なければならぬと思っています。ただ、システム等の改修も伴いある程度時間がか
かりますし、競争力を維持するということも非常に大事です。お客さまからも様々な
要望、期待がありますので、それは十分考慮していかなければならないと思っていま
す。

Q . コンビニでの手数料無料という報道があるが？

A . 他行の一つの判断なので、どういう動きになるかは注目しておかなければならないと
考えています。

Q . 特に、リテールで脅威になるとはお考えでないですか？

A . それはもちろん競争面では厳しくなるとは思いますが、りそなの場合はやはりお客さま
にどういうニーズがあるかということを見ながら、どういう面でメリハリをつけて
いったらいいかということを検討したいと思っています。

Q . 株式先物関連の損益とは何か？

A . 特に第一クォーターで、債券関係の相場も荒れ、同時に株も下がったという局面で、
一方で対前年比で160億円ぐらいの純投資、つまり株に連動した資産が落ち込んで
いますが、その一方で、ヘッジをしておりますので、そのヘッジ関係の利益が上がっ
ているということです。一方で現物が下がり、ヘッジの方で利益が上がったというこ
とです。

Q . 今後の優先株の発行等、今後の公的資金返済スケジュールとして具体的にどのような
ものがあるか？

A . 具体的には申し上げられませんが、拙速では良くないのでじっくり腰を据え、いくつ
もの提案がありますので、第二弾、第三弾を引続き検討していきたいと思いま
す。

Q . 場合によっては年内にもあるのか？

A . それは今の段階ではコメント出来ません。基本的には急ぐという絶対のプレッシャー
があるわけではありませんので、いろんな提案が来ている中で良い条件のものを選ん
で、また関係当局と相談する時間も必要でありますので、じっくり時間をかけて調達
をしたいと思っております。

Q . 先程 10 月は上期と比べて利鞘は改善してきていると言っていたが、年度を通してはどのようなイメージを持っているか？

A . なかなか見込みは難しいが、貸出金利そのものは着実に上昇トレンドを歩んでいますから、楽観的な見込みからすると悪い方向には行かないという見通しを立てております。しかし、まだまだ利鞘競争は厳しい状況が続いていますので、あまり油断しないようにしないといけないと思っています。

Q . 貸し金業法の改正について、融資業務やその他の業務への影響は？

A . 私はりそなの会長に就任した当時、やはりりそなグループの経営悪化の要因はいわゆる三業種、ノンバンク、ゼネコン、不動産が、ポートフォリオの比率としてメガより高い水準であったことから、ノンバンク等についても抑制的な方針で臨んで参りました。現時点では消費者金融会社等に対する融資は低い水準であり、リスク要因としては極めて限定的だと思っています。なお、消費者ローンは重要なリテールバンキングのテーマだと思っており、クレディセゾンとの提携の自分計画という 11% から 14% 程度の金利の商品を発売したり、消費者ローンの中でスルガ銀行の ATM カードローンが成功ビジネスになっているという話を聞き、岡野社長からもいろいろお知恵を借り、昨年从这个春まで埼玉りそなで試行的に ATM カードローンのサービスをやってまいりました。順調に実績を積み上げてきたので、この 6 月からグループ全体でそのサービスを開始しております。まだ数ヶ月ですが、順調に ATM カードローンのサービスは展開出来ていると思っています。また、消費者ローンのサービスは今後のリテールバンキングで大事なテーマだと思っていますので、もう少しいろいろ勉強し、情報を集めて、りそなグループ独自の商品を作ることも検討していきたいと考えています。ちなみにこの ATM カードローンは金利 18% で、10 万円、30 万円、50 万円を上限にサービスをしています。

Q . 最近銀行株、金融株は夏場から比べると期待が剥げたみたいで低いですが、今後どのように考えているか？

A . それはマーケットに聞く以外分かりませんが、いろいろ証券会社等の方からは、「若干弱気の虫が広がっているのではないか」という話を聞きます。必ずしも悲観的に見る必要がないのではないかと、この 3 年間でみると上昇トレンドですので、ここ何ヶ月か調整的な株価であっても、将来を悲観する必要がないというコメントを聞くことが多いです。

どうもありがとうございました。

以上